

令和2年度
専門研修

情報システム 開発委託管理

初学者に向けた基本的
な内容が中心です。



【第1回】

8月5日（水）・6日（木）

【第2回】

8月25日（火）・26日（水）

※いずれも9：00～17：00

日程

（各回2日間）

対象

情報システムの開発や運用を委託する業務を担当する職員及びこれから担当する予定の職員【定員98名（各回49名）】

ねらい

効果的で透明性の高い情報システムの開発・維持のために、システム開発及び委託後の進行管理を円滑に行うための知識を習得し、職務遂行能力の向上を図る。

会場

特別区職員研修所
（千代田区神田相生町1番地 秋葉原センタープレイスビル4～6階）

講師

株式会社インソース 講師 松林 幸枝 氏

カリキュラム

次ページ参照



受講される方は事前アンケートのご提出をお願いします。
詳細は、受入決定後に通知します。

カリキュラム ※各回共通

1日目

1 システム開発の原理原則

- (1) 品質の良いシステムとは？
 - (2) システムが要求する5つの要件
 - (3) 良い品質のシステム開発を実現するために ～重要なのは「業務効率の向上」
- 【ワーク1】 作りたいシステムをイメージして目標、効果を具体的に明示する**

2 要件定義作成

- (1) 業務の流れを全体的に整理する（＝森を見る）
- 【ワーク2】 処理の流れ図の作成実習**
- (2) 業務の流れを全体から部分に分けていく（＝木を見る）
 - (3) イレギュラー業務処理を考える
- 【ワーク3】 通常業務とイレギュラー業務の切り分け**
- (4) ユーザーインターフェイス（画面・帳票）を考える
 - (5) 言葉の定義を押さえる
- 【ワーク4】 用語集を作成する**

2日目

3 システム開発手順・工程管理の理解

- (1) システム開発概論
 - (2) 要件定義から開発、テスト、納品まで
ユーザー担当者のやるべき事
- 【ワーク5】**
先ほど考えたシステムの画面の流れ（画面遷移図）
と画面を作る
- (3) 手離れの良い開発要件の出し方
～失敗しない進捗管理
 - (4) ユーザー側担当者の秘訣
- 【ワーク6】**
過去の経験を踏まえ、「システム開発の困った事例」
を話し合う
- (5) テストの重要性

4 テスト・納品・導入

- (1) テストのポイント
 - (2) 納品のポイント
 - (3) 現場導入のポイント
- 【ワーク7】 ある機械に対するテスト方法を考える**
- 【ワーク8】 テスト項目を作る**

5 システム運用・障害対策

- (1) 運用管理のポイント
 - (2) 障害対策のポイント
- 【ワーク9】 障害対策について考える**

6 システム開発会社の見方

- (1) システム開発会社の組織概要
- (2) 良いシステム開発会社の選び方
- (3) システム開発会社の仕事の仕方～営業と
SE（システムエンジニア）の役割分担
- (4) システム開発担当者（SE）との付き合い方の
コツ

7 システム開発コストを理解する

- (1) 工数（人月）の見積もり方
- (2) 価格の違いについて
～システム開発業者の論理を知る
- (3) 具体的な人月算定方法
- (4) 見積書の見方
～①ソフトウェアの見積書
②ハードウェアの見積書

計 2日間（14時間） ※途中昼休憩等有り

【担当】 特別区職員研修所 教務課 専門研修係 第1回：Tel03-5298-3926
第2回：Tel03-5298-3924